

創立144周年

学校便り

令和2年度 No.4



進取

令和2年 7月29日発行

阿久根市立阿久根小学校
25学級 児童数449名

一学期を振り返って ～皆様のご協力・ご支援に感謝～

校長 秦 明夫

「こちらを立てれば、あちらが立たず」「二兎を追う者は一兎をも得ず」日本だけでなく、世界全体が新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立という大きな課題に頭を悩ましています。当然、二つを理想の形で手に入れることはできないので、新型コロナウイルスとうまく付き合いながら経済活動を行っていくウィズコロナの時代を皆が自覚し、乗り切っていかなければなりません。

学校においても一学期の多くの学校行事やPTA活動等を中止せざるを得ませんでした。特に保護者の皆様に関係がある家庭訪問や授業参観・学級PTAなどは、お忙しい中、日程を調整してくださったのに、非常事態宣言・鹿児島市のクラスター発生と直前になって状況が厳しくなり中止せざるを得ませんでした。児童・保護者・職員の健康面の安心・安全を考えてのこととはいえ、ご迷惑をおかけいたしました。

現在、保護者の皆様との教育相談「一緒に語り合しましょう」を実施しています。保護者との信頼関係を築く上でとても大切な教育相談が実施でき、ほっとしているところです。担任からは学校での様子や1学期のがんばり等をお伝えしますので、ご家庭での様子等をお聞かせいただけたらと思います。

朝、子供たちが、「校長先生、かぶとのめすがありました」「正門にかにかがいます」「かまきりもいます」と教えてくれました。「生き物に興味をもつのは、いつの時代も同じだな」とちょっとうれしく思うことでした。7月31日から夏休みに入ります。遠方への旅行や地域行事の参加などこれまでのようにはいかないかもしれませんが、昆虫採集や植物採集、自由研究など子供たちには、夏休みにしかできないような体験をできるだけ多くしてほしいと思います。

7月30日には、子どもたちに通知表を渡します。全校で集まって行う行事等は実施できませんでしたが、各学級で工夫をこらして教育活動に取り組んできました。お子さんの学習面や生活面のがんばりが通知表に記されていますので、ご覧になってお子さんを褒めてあげてください。

最後になりますが、保護者・地域の皆様のご協力・ご支援に心から感謝申し上げます。



令和2年度秋季大運動会

よりよい学級づくりのために

本年度は9月27日(日)に実施します。本県で国体が開催予定だったため、例年より1週間早い実施となります。

今回は、新型コロナウイルス感染症のこともあり、三密を防ぐ対応を検討しているところです。現時点では、午前中のみの実施を考えています。昼の飲食におけるリスク等も考えてのことです。

また、恒例の華の50歳組も出場を辞退されています。

運動会についてもウィズコロナの視点で運営してまいりたいと思います。

7月21日(火)、よりよい学級集団づくりのための職員研修を行いました。

昨年度から実施しています「学級診断尺度 Q-U」という検査をもとに、どのようにすれば一人でも多くの子供に学級での生活に満足感をもたせることができるか研修を深めました。

学級の生活に満足感をもつためには、学級に居場所がある、学級の友達から認められているなどの要素が必要です。

また、そのような学級の雰囲気をつくるには、教師の力によるものも大きいです。

研修の成果を日々の教育活動・学級経営に活かしていきたいと思っています。

